



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月28日

上場取引所 東 名

上場会社名 大豊工業株式会社
 コード番号 6470 URL http://www.taihonet.co.jp/
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 杉原 功一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 延川 洋二 TEL 0565-28-2225
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年11月26日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	50,170	23.9	1,300	—	1,534	—	1,539	—
2021年3月期第2四半期	40,480	△22.7	△2,291	—	△2,258	—	△2,507	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 2,918百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △3,109百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	53.05	52.80
2021年3月期第2四半期	△86.43	—

(注) 前四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株あたり四半期純損失であるため計算していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	115,110	66,909	57.4	2,277.93
2021年3月期	113,726	64,336	55.9	2,191.42

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 66,087百万円 2021年3月期 63,577百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	8.00	—	12.00	20.00
2022年3月期	—	12.00			

(注) 当社は定款において期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では2022年3月期の当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	101,000	8.7	3,500	392.9	3,600	356.3	2,800	830.9	96.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	29,172,457株	2021年3月期	29,172,457株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	160,498株	2021年3月期	160,454株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	29,011,990株	2021年3月期2Q	29,012,142株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P3
(1) 四半期連結貸借対照表	P3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P8
(継続企業の前提に関する注記)	P8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P8
(セグメント情報等)	P9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は軸受製品の売上増加等により50,170百万円となり、前年同四半期に比べ9,689百万円の増収(23.9%増)となりました。営業利益は1,300百万円(前第2四半期累計期間は営業損失2,291百万円)となりました。経常利益は1,534百万円(前第2四半期累計期間は経常損失2,258百万円)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,539百万円(前第2四半期累計期間は親会社株主に帰属する四半期純損失2,507百万円)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しておりますが、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①自動車部品関連事業

自動車部品関連事業においては、売上高が44,072百万円となり、前年同四半期に比べ10,924百万円の増収(前年同四半期比33.0%増)となりました。

②自動車製造用設備関連事業

自動車製造用設備関連事業においては、売上高が6,018百万円となり、前年同四半期に比べ1,236百万円の減収(前年同四半期比17.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に現金及び預金、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加、受取手形、売掛金及び契約資産の減少により前連結会計年度末に比べ1,383百万円増加し115,110百万円となりました。負債は、主に借入金の減少により前連結会計年度末に比べ1,189百万円減少し48,200百万円となりました。純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定の増加により前連結会計年度末に比べ2,572百万円増加し、66,909百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高 1,010億円、営業利益 35億円、経常利益 36億円、親会社株主に帰属する当期純利益 28億円を見込んでいます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,308	22,798
受取手形及び売掛金	18,794	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	16,739
電子記録債権	3,864	3,881
商品及び製品	3,576	5,019
仕掛品	2,737	2,428
原材料及び貯蔵品	5,050	5,923
その他	2,485	2,240
貸倒引当金	△28	△36
流動資産合計	57,788	58,995
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,816	34,662
減価償却累計額	△22,929	△23,559
建物及び構築物(純額)	10,887	11,103
機械装置及び運搬具	96,740	98,000
減価償却累計額	△78,885	△80,312
機械装置及び運搬具(純額)	17,855	17,687
工具、器具及び備品	21,371	21,544
減価償却累計額	△19,672	△19,985
工具、器具及び備品(純額)	1,698	1,559
土地	13,358	13,371
リース資産	333	331
減価償却累計額	△227	△237
リース資産(純額)	106	93
建設仮勘定	2,912	2,682
有形固定資産合計	46,818	46,498
無形固定資産		
リース資産	7	6
その他	2,003	2,148
無形固定資産合計	2,011	2,154
投資その他の資産		
投資有価証券	3,586	3,746
繰延税金資産	2,309	2,450
退職給付に係る資産	658	669
その他	710	640
貸倒引当金	△156	△45
投資その他の資産合計	7,108	7,461
固定資産合計	55,938	56,115
資産合計	113,726	115,110

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,872	6,641
電子記録債務	4,678	5,078
短期借入金	281	303
1年内返済予定の長期借入金	3,466	3,804
リース債務	30	27
未払費用	5,709	5,868
未払法人税等	406	448
役員賞与引当金	145	73
その他	1,583	1,585
流動負債合計	23,174	23,831
固定負債		
長期借入金	24,494	22,710
リース債務	66	53
繰延税金負債	421	497
退職給付に係る負債	757	782
役員退職慰労引当金	263	142
資産除去債務	45	43
その他	166	139
固定負債合計	26,215	24,369
負債合計	49,389	48,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,712	6,712
資本剰余金	10,181	10,181
利益剰余金	46,028	47,229
自己株式	△200	△200
株主資本合計	62,721	63,922
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,629	1,737
為替換算調整勘定	△852	354
退職給付に係る調整累計額	79	72
その他の包括利益累計額合計	856	2,164
新株予約権	156	149
非支配株主持分	602	673
純資産合計	64,336	66,909
負債純資産合計	113,726	115,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	40,480	50,170
売上原価	36,282	41,923
売上総利益	4,198	8,247
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	458	597
役員報酬	178	168
従業員給料	1,530	1,587
賞与	512	519
退職給付費用	72	61
法定福利費	301	320
福利厚生費	198	201
役員退職慰労引当金繰入額	20	14
役員賞与引当金繰入額	58	65
賃借料	84	102
旅費及び交通費	38	71
減価償却費	232	334
研究開発費	1,677	1,701
その他	1,126	1,198
販売費及び一般管理費合計	6,490	6,946
営業利益又は営業損失(△)	△2,291	1,300
営業外収益		
受取利息	11	15
受取配当金	37	41
助成金収入	287	1
為替差益	—	111
持分法による投資利益	—	9
貸倒引当金戻入額	—	108
その他	58	74
営業外収益合計	395	362
営業外費用		
支払利息	67	66
固定資産除却損	3	11
為替差損	93	—
貸倒引当金繰入額	114	—
持分法による投資損失	18	—
その他	64	51
営業外費用合計	361	129
経常利益又は経常損失(△)	△2,258	1,534

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
特別利益		
新株予約権戻入益	41	22
固定資産売却益	2	4
債務免除益	—	420
特別利益合計	43	447
特別損失		
固定資産除却損	—	8
固定資産売却損	0	5
新型コロナウイルス感染症による損失	153	—
投資有価証券評価損	—	8
その他	1	2
特別損失合計	155	25
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△2,369	1,956
法人税、住民税及び事業税	245	462
法人税等調整額	△127	△112
法人税等合計	118	350
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,487	1,606
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	67
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△2,507	1,539

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,487	1,606
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	224	107
為替換算調整勘定	△866	1,198
退職給付に係る調整額	24	3
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	2
その他の包括利益合計	△621	1,312
四半期包括利益	△3,109	2,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,079	2,847
非支配株主に係る四半期包括利益	△30	70

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)及び「収益認識に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第30号 2021年3月26日)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、一部の自動車製造用設備に係る売上について一時点で売上を計上してはりましたが、一定の期間にわたって計上する方法に変更しております。

なお、収益認識適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、収益認識会計基準等の適用による、当第2四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、当第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車部品 関連事業	自動車製造 用設備関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	33,147	7,255	40,402	77	40,480	-	40,480
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	144	144	255	399	△399	-
計	33,147	7,399	40,546	333	40,880	△399	40,480
セグメント利益又は損失(△)	△111	432	320	△0	320	△2,612	△2,291

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品の小売・自動車部品の物流・梱包等のサービス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との調整額△2,612百万円は、主に全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)となっております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失との調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車部品 関連事業	自動車製造 用設備関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,072	6,018	50,090	79	50,170	-	50,170
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	100	100	258	358	△358	-
計	44,072	6,119	50,191	337	50,529	△358	50,170
セグメント利益又は損失(△)	3,399	663	4,062	3	4,066	△2,766	1,300

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物品の小売・自動車部品の物流・梱包等のサービス等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との調整額△2,766百万円は、主に全社費用(主に報告セグメントに帰属しない一般管理費)となっております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用

し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に变更しております。当該変更による各事業セグメントにおける当第2四半期連結累計期間の「売上高」及び「セグメント利益又は損失」への影響は軽微であります。